

2025年度 図書館だより 〈第3号〉

令和7年6月6日（金） 群馬県立太田フレックス高等学校図書室 発行

群馬県立図書館 夏休み高校生ボランティア募集

群馬県立図書館より、夏休み高校生ボランティア募集の案内が届きました。図書室にポスターを掲示しています。参加を希望する生徒は、6月13日（金）までに本校図書室まで申し込んでください。

- 応募者要件
図書館に関心を持ち、ボランティア活動に意欲のある高校生で、全日程での活動が可能な生徒。
- 活動期間
令和7年7月30日（水）・31日（木） 9:00～16:00
8月 1日（金） 9:00～12:00
- 活動内容
①館内見学 ②図書資料の配架・整理 ③ビブリオバトル体験会・POP作成 ④図書選定
⑤事務補助作業 ⑥ボランティア体験記集の作成
- その他
報酬無償（交通費、昼食代等の支給はなし。）
活動中の事故等に備え、県立図書館負担で「ボランティア活動保険」に加入。
- 活動場所 群馬県立図書館
所在地 前橋市日吉町1-9-1

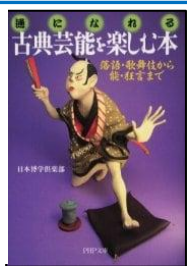
学校行事関連図書の紹介

先日ⅠⅡ部では、芸術鑑賞教室が開催され、日本の伝統芸能である落語や太神楽を鑑賞しました。もう少し関心や理解を深めたいという皆さんのために、関連図書を紹介します。図書室で展示も行っています。Ⅲ部の皆さんも興味があったら、ぜひ手に取ってみてください。

『古典芸能を楽しむ本』

日本博学倶楽部／著 PHP 研究所

古典芸能は練りに練り上げられた日本のエンターテインメントです。スポーツはルールを知らなければ楽しめません。古典芸能も同じで、楽しみ方のツボがあります。本書は、古典芸能をもっと楽しむためのナビゲーターです。初心者でも「通」を気取れる便利本。



『落語を楽しもう』

石井明／著 岩波ジュニア新書

囃家は本題に入る前に世間話などをして客席の反応を見定め、その場に最も合った一期一会の一席ができればいい。だから同じ囃しも、何度聴いてもおもしろい。一人で正座して語られる世界に類のないこの話芸には、江戸伝来のさまざまな工夫がこめられて奥深い。



『あらすじで読む古典落語の名作』

野口卓／著 柳家小満ん／監修 案書館

落語のエッセンスが詰まったこの1冊を読めば、あなたはたちまち落語の虜。疲れた心身を、笑って、癒して。江戸の古典落語の真髄を、情感こもったあらすじでユーモアたっぷりに紹介。



『古典落語 はじめてみる伝統芸能』

川村恵／文 桂小南／監修 クロスロード

不思議な古典落語、江戸庶民の生活、寄席をたずねて、はなし家の1日、真打ちへの道、落語を支える人々、仕方おもしろ大研究、落語の歴史、落語って何だ？、落語ベスト10、落語いろいろQ&A、寄席マップなど、落語の知識満載の本。



新しく入った本の紹介



本づくりの歴史を調べ、印刷と製本の現場を知ると、本を読む喜びが、より深くなるかもしれません。



これからの時代を生かすために必要な「金融リテラシー」を身につけることができる1冊。



江戸の町人文化を築き上げた仕掛け人の手腕がサクッとわかる。



淡い心を表す日本の言葉集。人生の儚さに葉が挟むような言葉が紡がれています。



哲学の主要な概念を、誰でも理解しやすいように、200のトピックに分けて説明する入門書。



就活、小論文、入試・資格試験で役立つキーワードを、専門記者がわかりやすく書き下ろし解説。